

平成20年6月16日

## 報告書に添付するデータファイル等の作成方法

### 1. リートベルト法の解析結果データファイルについて

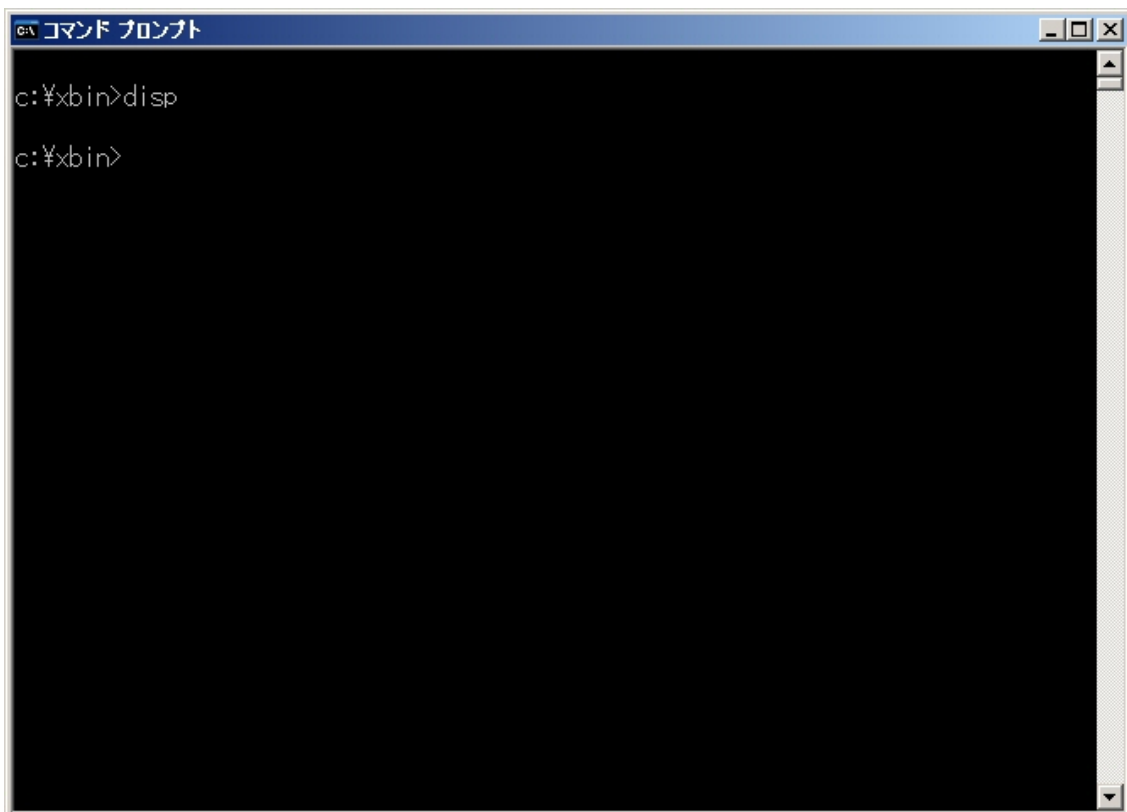
プログラム PFLS の解析結果データは、ルートディレクトリの下にある¥tmp にファイル名が pfls.txt という名称で作成されます。（すなわち、C:¥tmp¥pfls.txt というファイルを参照してください。）このファイル pfls.txt は、テキスト形式のデータです。

このテキスト形式のデータファイル pfls.txt を報告書と共にメールに添付して指定の送付先へ送付してください。

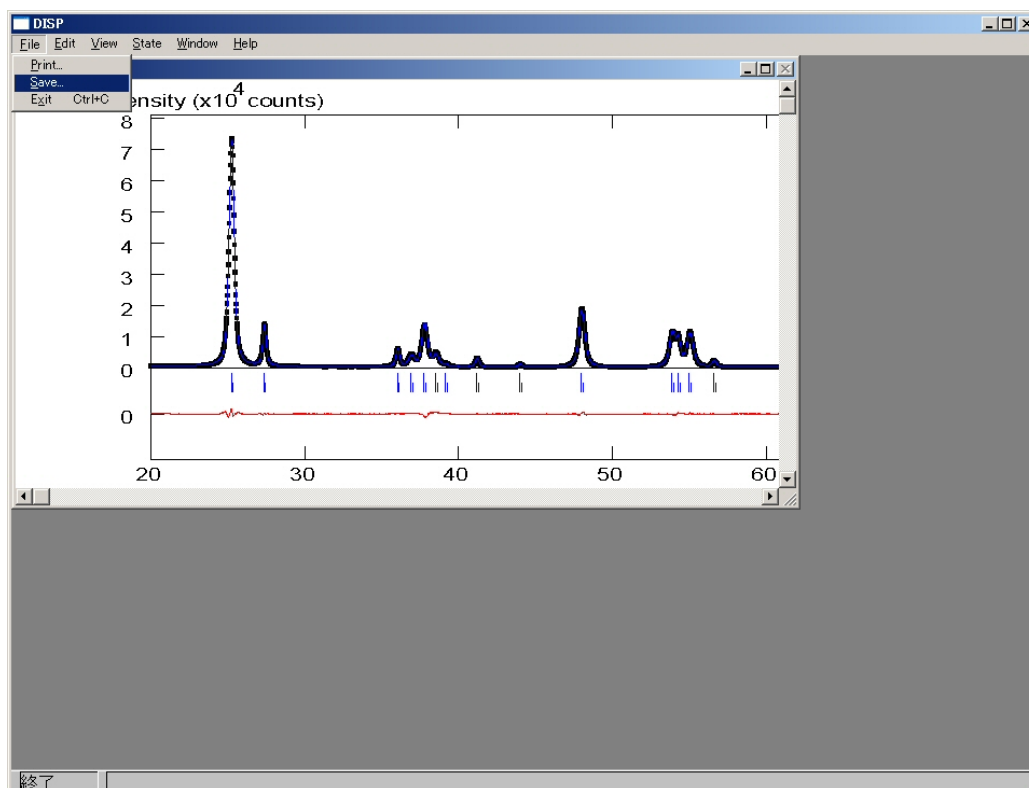
### 2. パターンフィッティング図の画像データファイルの作成方法について

プログラム DISP で表示されるパターンフィッティングは、次の方法で、画像データとして記録することが出来ます。なお、プログラム DISP は、今回の共同分析で配布するものをご使用ください。

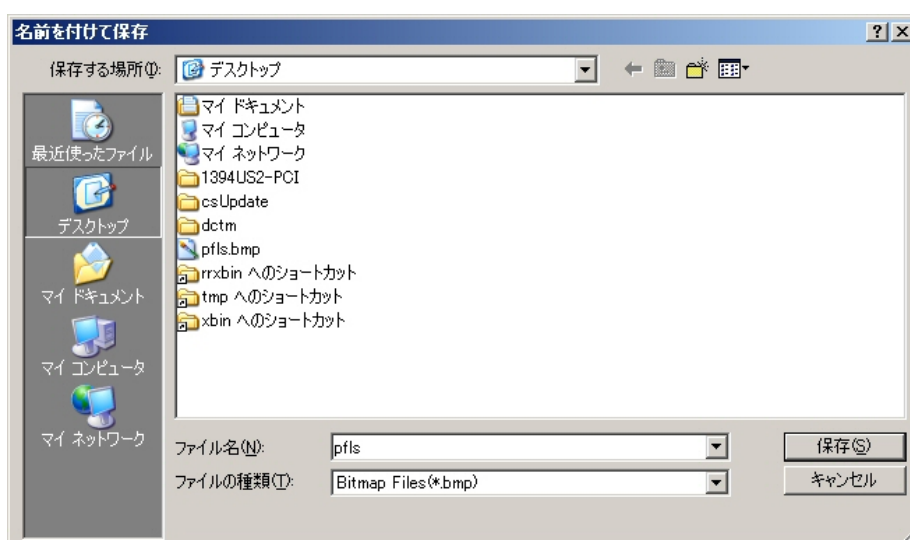
①WindowsXP/Vista 等の OS におけるコマンドプロンプトにて、disp を起動する。



②フィッティング図が別ウィンドウに表示されます。ウィンドウのメニュー[File]の中のプルダウンメニュー[Save]を選択します。



③保存する場所を選択し、ファイル名を適切に入力して、[保存]を選択してください。なお、ファイルの種類は Bitmap Files となります。



④保存した Bitmap 形式のファイルは、容量が 1.8Mbytes 程度になりますので、メールに添付して送付できない場合があります。その時は、画像編集ソフト等で jpg 形式に変換して容量を小さくしてください。画像ファイルを報告書等と共に送付してください。